

いかだ棧橋 修繕完了

国立能登青少年交流の家

国立能登青少年交流の家（羽咋市柴垣町）の敷地にある棧橋が改修された。池での「いかだ活動」で使う橋は老朽化で危険な状態だったため、寄付を募って修繕費を賄った。1日は珠洲市飯田小の5、6年生19人が新しい棧橋から元気にこぎ出した。

棧橋は2009年ごろに作られた。1月25日付の北國新聞朝刊で窮状が報じられて以降、4月末までに県内外から、計196万3670円（目標100万円）の寄付が集まった。

1日は寄付した羽咋ライオンズクラ

ブや羽咋ロータリークラブの関係者らが出席して完成式典が行われ、北見靖直所長が「児童には思いっきり楽しんでほしい」と喜んだ。



棧橋からいかだをこぎ出す児童

＝羽咋市柴垣町